

## 平成 25 年 6 月 15 日 「弟子、山に登る」

掲載日 : 2013 年 6 月 15 日

### 平成 25 年 6 月 15 日 「弟子、山に登る」

初めまして。桃色ウサビの弟子に着任しました。橋本 踏です。

この募集を見て、朝日町に興味を持ち 6 月 1 日に引っ越してきました。

着ぐるみの元での修業は初めてですが頑張ります！宜しくお願いします！



虚ろな視線を背後から感じる仕事場…

ウサビ 「そうそう、今週末に朝日連峰の山開きあるんだよね…」

弟子 「山登りまで取材いくんですか??」

ウサヒ 「いやぁ、諸事情(着ぐるみの構造)の問題で登山は…」

弟子 「そうですか…じゃあ、私が一人で潜入取材してきましようか??」

ということで、

着任から1週間、初の単独取材で

「朝日連峰の山開き」に参加することになったのです。



朝日町は[朝日連峰](#)の麓に位置しています。

写真は朝日町名物「[榎平の棚田](#)」、朝日連峰は奥の雪に覆われた山

ただ、山開きの取材と言われても、

どこから登ればいいのか分からない・・・

師匠(ピンクの着ぐるみ)は山には登れないし・・・

ということで、

山開きのための山道整備をおこなう[朝日山岳会](#)にお願いして

一緒に登らせていただくことになりました。



朝日山岳会の皆さんは登山者が安心して登れるように

朝日連峰の登山道を整備してくれている団体です。

山岳会の方との挨拶をすませ、

長靴・カッパ・帽子...弟子ハシモトが登山グッズを準備していたその時・・・



ウサヒ 「山にはそれと一緒に行ってね！」

弟子 「なんですかコレ？」

ウサヒ 「ウサヒ棒です。」

弟子 「ハエ叩きのたくいでしょうか??」



ウサビ 「ちげーよ、これをもって山に登って

まるでウサビが取材してきたみたいにレポートしてほしいんだよ。」

弟子 「ああ、土曜の午前中にやってる情報番組みたいにですね。」

ウサビ 「そうそう、虹色 ーンのジー ちゃんみたい感じにね！」

山には登れないが、休日の情報番組のチェックは欠かさないのが私の師匠である。

そんなこんなでニューアイテム「ウサビ棒」を手に、

6月15日、朝日岳に登ることになりました。

以後、私なりにウサビ棒を使って、週末の情報番組のように演出したレポートをお楽しみ下さい。

出発当日・・・



続々と荷物を積み込む朝日山岳会の方々



早速、ウサビ棒登場！！今回は白滝口から登ります。

[朝日鉱泉](#)の近くです。

>> 朝日連峰の地図は[こちらから](#)



神主の宮本さん、明日の山開きで活躍予定です。

弟子 「凄い！山伏みたいな格好ですね！」

宮本さん「山伏みたいというか、先祖は山伏だよ。」

なんと宮本さんは由緒正しい修験(山伏)の末裔でした！！

女性会員さんからも「宮本さんについていけば大丈夫！」と

絶大な信頼を得ている宮本さん…



お言葉に甘えてどこまでも着いていきます。



登り始めて約2時間



目的地 鳥原小屋が近づくと景色は一変。付近には残雪が…

雨も降りだして雪山登山のような光景に…

(前の写真からたった 20 分で、これだけ景色が変わります)



ようやく鳥原小屋に到着！！

あれ…なんか…ウサビ棒…汚れている…ような…

気のせいかな…



残念な状態のウサ棒

あわわ…ウサビ(本体)に怒られる…

という事で洗面所へ



うん！汚れは気のせいということにしよう。

クレンザーの匂い？…気のせいです！！

あ、ほら、雪の上にウサギのフン落ちてますよ。

(話を逸らしてみた)



その日の夜は山形のソウルフードひきづりうどんをごちそうになり

山岳会員さん達と鳥原小屋に一泊しました。

弟子 「なんでひきづりうどんっていうんですか??」

山岳会長さん「ひきづって食べるからだよ。」

弟子 「!!(そのまんまだ・・・)」

名前はともかく、美味しかったので二杯ほどおかわりしました。

翌日はいよいよ朝日連峰山開きです。



朝日連峰に関する朝日、鶴岡、寒河江、長井、西川、大江、白鷹の

7市町村の山岳会や観光団体及び行政関係者など続々と集まって来ました。



朝日山岳会の皆さんもいつの間にか衣装を身にまとい



太鼓の音とともに山開きが始まりました。



玉串奉天には地元小学生も参加。



朝日山岳歌を参加者 150 名で歌います。弟子も楽譜を必死に読みながら歌いました。



山開きの式典後は参加者にお神酒が振る舞われます。

弟子 「うい～(…ちょっと酔っぱらってる)あ、宮本さん！」

宮本さん「？」

弟子 「神主、お疲れ様でした！ちょっとウサビ棒持って貰えますか？」

宮本さん「良いけど(…何をさせる気だ…)」



本日の主役、神主の宮本さんとウサビ

お神酒でほろ酔いの弟子は勢いづいて暴走をはじめました。

弟子「あ、あの方は！！是非、あの方と撮りたい！！」



朝日連峰の頂点、大朝日小屋管理人の阿部さんの後姿

弟子「初めまして！朝日町に6月1日から桃色ウサビの弟子として赴任しました橋本です！」

阿部さん「桃色ウサビ??」

阿部さんは山にいる期間が長いので、下界の情報はあまり知らず、

朝日町に桃色ウサビというゆるキャラがいることをご存じありませんでした。

阿部さん「いいじゃないか！可愛いじゃないか！その桃色なんとか!!」

弟子「本当ですか！ちょっと今日、本体は来れなかったんですけど、

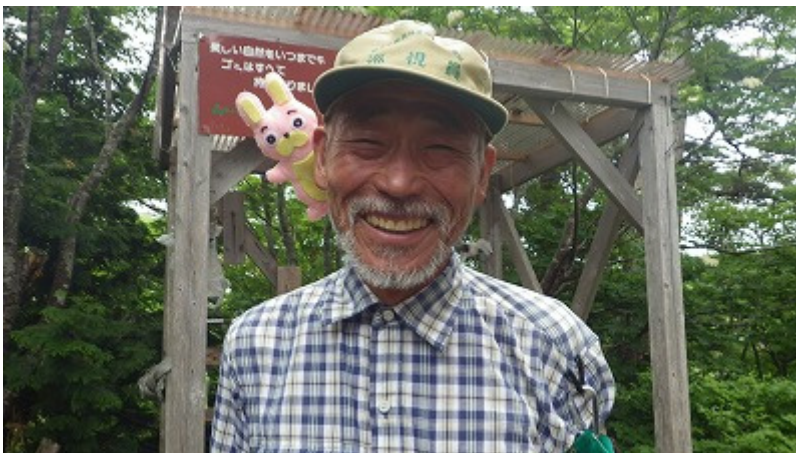
分身のウサビ棒と一緒に写真を撮って貰えませんか？」

阿部さん「いいとも!!」

そんなやり取りの末、ウサビ棒を阿部さんにお渡しした所、

「ただ持ったんじゃつまらない」

と、後方から、ウサビをよきっと出現させて下さいました。



すっかりウサヒを気に入り満面の笑みを見せる阿部さん



他の山開き関係者は弟子の暴走をよそに、昼食を楽しんでいました。

まだ朝日町に来て間もない上に、ウサヒの中の人々の同行もないロンリーな状況でしたが、

朝日山岳会のみなさんをはじめ、参加者の方々に大変よくしていただき、

無事取材を終えることができました。

今回は朝日連峰の鳥原山までの登山でしたが、今年中に阿部さんのいる大朝日小屋まで登るぞ！！

と決心しつつ、倒れこむように12時間ほど寝ました。

これからも、このウサヒ棒を持って、どんどん朝日町を探検していきたいと思います！！

これからもよろしくお願いします！！